関東地方

名前

問1　1919年ごろの地形図において、現在の東京都渋谷区松濤付近は「鍋島農場」と呼ばれていました。当時のこの地点で主に見られた土地利用として、最も適切なものはどれですか。（2017年 佐賀県公立入試 類似）

1. 果樹園
2. 荒地
3. 針葉樹林
4. 水田

問2　東京都の工業統計において、印刷業や情報通信機械などの出荷額が占める割合が、他の工業地域と比較して高くなっている理由として、最も適切な説明はどれですか。（2017年 愛知県公立入試 類似）

1. 原材料の輸入や製品の輸出に便利な大型港湾があるため、鉄鋼や化学などの基礎素材産業が中心となっているため
2. 東京湾沿岸の広大な埋立地を利用して、大規模な製鉄所や石油コンビナートが整備されているため
3. 内陸部の豊かな水資源を活用して、古くから綿織物や絹織物などの繊維工業が発展してきたため
4. 出版社や放送局が数多く立地し、情報の加工やメディアに関連する需要が非常に大きいため

問3　関東地方の各都県の統計において、人口密度が全国でも有数の高さである一方、夜間の常住人口に対する昼間の人口の割合を示す「昼夜間人口比率」が100%を大きく下回る県があります。このような統計上の特徴を持つ埼玉県のような地域は、都心へ通勤・通学する人々の住宅地としての役割が強いことから、一般に何と呼ばれますか。（2020年 高知県公立入試 類似）

1. ベッドタウン
2. 工業地域
3. 政令指定都市
4. ニュータウン

問4　昼夜間人口比率は、ある地域の夜間人口に対する昼間人口の割合を示したものです。ある地域における「昼間人口」を算出するための正しい計算式として適切な説明はどれですか。（2022年 兵庫県公立入試 類似）

1. その地域の夜間人口から、地域外へ通勤・通学する人を引き、さらに他市区町村から転入してくる人を引く。
2. その地域の夜間人口から、地域外へ通勤・通学する人を引き、地域外からその地域へ通勤・通学してくる人を加える。
3. その地域の夜間人口に、地域外からその地域へ通勤・通学してくる人を加え、さらに他市区町村へ転出する人を加える。
4. その地域の夜間人口に、地域外へ通勤・通学する人を加え、地域外からその地域へ通勤・通学してくる人を引く。

問5　高度経済成長期の日本では、都市部の人口過密を解消するために、郊外で「ニュータウン」と呼ばれる大規模な住宅地の開発が進められました。東京の多摩ニュータウンにおいて、1975年ごろに出生数がピークを迎えた主な要因として、当時の社会状況をふまえた適切な説明はどれですか。（2024年 佐賀県公立入試 類似）

1. 都市部から移り住んだ若い世代による核家族世帯の入居が同時期に集中したため
2. 地方から移住してきた高齢者による三世代同居世帯が大幅に増加したため
3. 1990年代の少子化対策により、子育て支援制度が全国に先駆けて充実したため
4. バブル経済の影響で、都心から郊外へ移住する高所得者層が急増したため

問6　関東地方に属する1都6県のうち、唯一、日本海側に面する新潟県と県境を接している県の県庁所在地はどこか、名称を答えなさい。（2018年 千葉県公立入試 類似）

1. 宇都宮市
2. 水戸市
3. 高崎市
4. 前橋市

問7　関東地方の各都県を比較した統計において、埼玉県は「昼夜間人口比率」が全国でも極めて低い水準にあります。この指標の説明および埼玉県の状況として正しいものはどれですか。（2016年 静岡県公立入試 類似）

1. 夜間人口100人に対する昼間人口の割合のことで、埼玉県では100を大きく下回っている。
2. 1年間の人口流入数と流出数の差のことで、埼玉県では流入数が流出数を上回っている。
3. 面積1平方キロメートルあたりの昼間人口のことで、埼玉県は東京都よりも高い数値である。
4. 昼間人口100人に対する夜間人口の割合のことで、埼玉県では100を大きく上回っている。

問8　大都市の人口動態において、常住する夜間人口に対する昼間人口の割合を示す「昼間人口比率」が100%を超える地域が見られる。このように昼間人口の方が多くなる主な理由として、最も適切なものはどれか。（2018年 福岡県公立入試 類似）

1. 周辺地域から通勤や通学のために多くの人々が流入するため
2. 郊外のニュータウンから中心部へ向かって、定年退職者が移住するため
3. 昼間に中心部から周辺地域へ向かって、働き盛りの世代が流出するため
4. 都心部の地価が高騰し、夜間に居住する人口が急増したため

問9　東京都心への一極集中に関連して、新宿や渋谷、池袋などのように、都心と郊外を結ぶ多くの鉄道が集まり、路線の起点や終点となっている大規模な駅を一般に何というか。（2022年 青森県公立入試 類似）

1. ジャンクション
2. ターミナル駅
3. クロスポイント
4. ハブステーション

問10　群馬県沼田市付近の地形図から読み取れる情報について説明した次の文章のうち、地形の成り立ちや特徴と矛盾しない正しい説明はどれですか。なお、この地域を流れる片品川は北東から南西に向かって流れています。（2022年 兵庫県公立入試 類似）

1. 洪水による浸水リスクを避けるため、沼田市役所や警察署などの主要な公共施設はすべて片品川沿いの低地に集中している。
2. 片品川は標高の高い南西方向から、標高の低い北東方向に向かって、段丘の斜面を駆け上がるように流れている。
3. 地形図上の等高線の間隔が非常に広くなっている場所に、沼田駅と沼田城跡を結ぶ急峻な崖が存在している。
4. 沼田駅付近から北東にある沼田城跡（公園）に向かうには、等高線が密集している急な斜面を登る必要がある。

問11　神奈川県の県庁所在地であり、関東地方で最も多い人口を抱える横浜市について述べた文として、正しいものを選びなさい。（2022年 福島県公立入試 類似）

1. 政令指定都市に指定されており、近年は内陸部の工業団地を「みなとみらい21」として再開発し、先端技術産業を誘致している。
2. 政令指定都市に指定されており、臨海部の再開発地区である「みなとみらい21」には商業施設や国際会議場が集まっている。
3. 中核市に指定されており、江戸時代から続く城下町としての景観を維持するため、臨海部の開発は厳しく制限されている。
4. 中核市に指定されており、臨海部では「幕張新都心」と呼ばれる大規模な都市開発が行われ、業務機能が集中している。

問12　東京23区の住宅地の平均価格が約49万円/㎡であるのに対し、周辺の埼玉県や千葉県、神奈川県では20万円/㎡未満となっています。このような地価の差を背景として、周辺3県から毎日合計240万人以上の人々が東京23区へ流入している状況について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2017年 佐賀県公立入試 類似）

1. 住宅価格が高い都心部で働くために周辺の県から移住する人が多いため、東京23区の夜間人口が昼間人口を大きく上回る。
2. 東京23区と周辺の県での地価の差が縮まっているため、通勤・通学による人口の移動が減少し、昼間人口と夜間人口がほぼ等しくなる。
3. 地価の低い周辺の県にオフィスや学校が集中しているため、東京23区から周辺の県へ向かう通勤・通学者の方が多く、昼間人口が減少する。
4. 住宅価格が高い都心部を避けて周辺の県に住み、そこから通勤・通学する人が多いため、東京23区の昼間人口が夜間人口を大きく上回る。